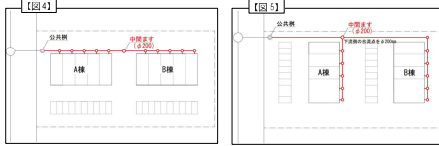
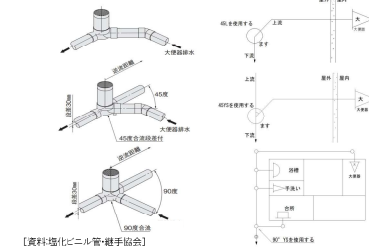


修正後

- (10) ますの立上り管の形状・大きさ (公道・私道部)
- 立上り管は、内径150mm以上の円形とし、VU管(薄肉管)を使用する。
 - 立上り管の内径は、原則として接続する排水管の管径及び埋設深から定める。(表4参照)
- 【表 4】 ます口径の選定
- | ますの内径 | ますの深さ | 排水管径 |
|-------|----------|-------------|
| 150mm | ～150cmまで | 100mm～150mm |
| 200mm | 151cm以上～ | |
- ※排水管径が上記以外の場合は、別途協議するものとする。
- 公共部1個に対し、集合住宅を複数棟接続する場合は、接続する集合住宅間に中間ます (φ200mm)を設けなければならない。【図 4】 【図 5】



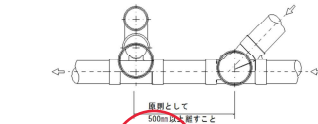
- (11) ますの接続
- 大規模からの排水が車庫会合する箇所及びその下流側でほかの排水系統と合流する箇所には、逆流を防止するため、合流段差付ます(45°YS、WL5等)を使用する。なお、起点が大規模からの排水の場合は、45°曲がります(45°L)を使用する。また、既存住宅の水洗切り替え工事を行う場合、段差付ますを使用すると勾配の確保が困難なときは、45°合流ます(45°Y)を使用することができる。
- なお、本組合流部のますについては、90°合流ます(90°YS)を使用し、段差をつけるものとする。ただし、浄化槽への排水設備においてはこの限りではない。



【資料】塩化ビニル管・継手協会

7

- 大規模からの排水の合流点ますの下流に近接してトラップますを設けると、瀧し流入したトイレの汚水が管内でへみ上げ、回転しトラップ部に汚物を送り込む可能性があるため、原則として500mm以上離すこと。
- なお、起点にトラップ付90°・45°L器曲点ます(UT-L45°L)を設置すると、同様に汚物を送り込むおそれがあるので使用しないこと。



- ますの深さと口径について (宅地内)

ます深	800 mmまで	ます径	φ150 mm以上
	800 mmを超える		φ200 mm以上を原則

※ドリップますのます深さ(H)は、上流側を基準とする。
※ドリップますの曲がり部は、大曲エルボを使用すること。



- 最小落差
- ドリップますは、VU継ぎ手大曲エルボを使用するので、その最小落差は下表のとおりとなる。

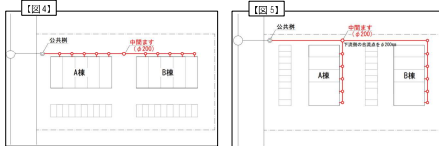
管口径	最小落差(LL使用)
100	310 mm
125	370 mm
150	440 mm

大曲エルボ

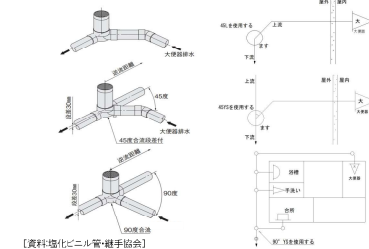
8

修正前

- (10) ますの立上り管の形状・大きさ
- 立上り管は、内径150mm以上の円形とし、VU管(薄肉管)を使用する。
 - 立上り管の内径は、原則として接続する排水管の管径及び埋設深から定める。(表4参照)
- 【表 4】 ます口径の選定
- | ますの内径 | ますの深さ | 排水管径 |
|-------|----------|-------------|
| 150mm | ～150cmまで | 100mm～150mm |
| 200mm | 151cm以上～ | |
- ※排水管径が上記以外の場合は、別途協議するものとする。
- 公共部1個に対し、集合住宅を複数棟接続する場合は、接続する集合住宅間に中間ます (φ200mm)を設けなければならない。【図 4】 【図 5】



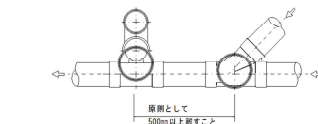
- (11) ますの接続
- 大規模からの排水が車庫会合する箇所及びその下流側でほかの排水系統と合流する箇所には、逆流を防止するため、合流段差付ます(45°YS、WL5等)を使用する。なお、起点が大規模からの排水の場合は、45°曲がります(45°L)を使用する。また、既存住宅の水洗切り替え工事を行う場合、段差付ますを使用すると勾配の確保が困難なときは、45°合流ます(45°Y)を使用することができる。
- なお、本組合流部のますについては、90°合流ます(90°YS)を使用し、段差をつけるものとする。ただし、浄化槽への排水設備においてはこの限りではない。



【資料】塩化ビニル管・継手協会

7

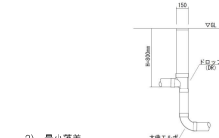
- 大規模からの排水の合流点ますの下流に近接してトラップますを設けると、瀧し流入したトイレの汚水が管内でへみ上げ、回転しトラップ部に汚物を送り込む可能性があるため、原則として500mm以上離すこと。
- なお、起点にトラップ付90°・45°L器曲点ます(UT-L45°L)を設置すると、同様に汚物を送り込むおそれがあるので使用しないこと。



- ますの深さと口径について

ます深	800 mmまで	ます径	φ150 mm以上
	800 mmを超える		φ200 mm以上を原則

※ドリップますのます深さ(H)は、上流側を基準とする。
※ドリップますの曲がり部は、大曲エルボを使用すること。



- 最小落差
- ドリップますは、VU継ぎ手大曲エルボを使用するので、その最小落差は下表のとおりとなる。

管口径	最小落差(LL使用)
100	310 mm
125	370 mm
150	440 mm

大曲エルボ

8